

# 地域活動拠点を充実させた包括支援サブセンターの設置（秦野市）

担当区域内にサブセンターを設けることで、業務の効率化を図るとともに、地域住民にとって利便性が飛躍的に向上。  
普段気軽に利用できる拠点となり、コミュニティ形成の支援が実現。



平成23年度から24年度にかけて、地域密着型を実現するため、2つの包括支援センターがそれぞれサブセンターを設置

- ☆ 身近で利用しやすい相談機関
- ☆ 本来の目的に適った施設
- ☆ 地域の人々が利用できる場を提供



地域とのコミュニケーション機会の増加



## ○ 一般高齢者の介護予防事業への参加促進・相談件数の増加

◀相談件数▶

単位：件

	平成23年度	平成24年度
サブセンターA (平成23年度設置)	6,934	7,304
サブセンターB (平成24年度設置)	4,020	5,092



## ○ 地域包括ケアシステムの基礎づくりを推進

介護予防事業の様子

## 地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

①市区町村名	秦野市
②人口（※1）	大根・鶴巻地域 (9,259人) 南地域 (6,395人)
③高齢化率（※1） (65歳以上、75歳以上それぞれについて記載)	大根・鶴巻地域 (75歳以上 38%、65歳以上 62%) 南地域 (75歳以上 42%、65歳以上 58%)
① 取組の概要	担当区域の外に設置されていた2地域の包括支援センターについて、担当区域内にサブセンターを設置するとともに地域の高齢者が交流できる場を取り入れて整備した。
⑤取組の特徴	包括支援センター活動の動線がコンパクトで合理的になり、地域内に施設ができたことで、地域での認知度が上がるとともに地域の需要に沿ったサービスを提供し易くなる。 地域で利用できる場を設けたことで、地域住民との交流機会が増えた。
⑥開始年度	大根・鶴巻地域高齢者支援センター 平成24年4月 南地域高齢者支援センター 平成25年1月
⑦取組のこれまでの経緯	
⑧主な利用者と人数	高齢者及びその家族や地域住民
⑨取組の実施主体及び関連する団体・組織	(大根・鶴巻地域高齢者支援センター)社会福祉法人 神奈川県社会福祉事業団 (南地域高齢者支援センター)社会福祉法人 むつみ福祉会
⑩市区町村の関与（支援等）（※2）	地域支え合い体制づくり事業補助金を利用して整備補助を実施した
⑪国・都道府県の関与（支援等）（※3）	地域支え合い体制づくり事業補助金を受け、整備補助を実施 平成23年度 35,756,000円 平成24年度 15,000,000円
⑫取組の課題	いずれも既に高齢化率が30%を超えた、また、数年の内には超える大規模団地を控えており、見守りを意識した体制づくりが急務である。
⑬今後の取組予定	地域の住民に有効利用してもらえるように広く周知し、相談や訪問、予防事業の提供などを通じ、地域ケアの構築に向けて、地域との連携がスムーズにとれるような体制づくりを行っていくこと
⑭その他	
⑮担当部署及び連絡先	福祉部 高齢介護課 在宅高齢者支援班 (0463) 82-7394

※1 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を（ ）内に記載してください。

※2 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。

※3 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。